

取扱説明書

IRINO

フレコンバッグスケールシステム
コンパクトフレコン



CF04
本体部

CF03
本体部

CF02
本体部



正しく安全に効率良い作業をしていただくために、ぜひ心掛けていただきたいことを述べていますので、ご使用前に必ずお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後は必ず製品に近接して保存してください。

「コンパクトフレコン」をお買い上げいただき ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は「コンパクトフレコン」の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後も **必ず製品に近接して保存** してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げいただいた販売店にご注文してください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を予告無く行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気づきのことがございましたら、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
-  印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目です。必ずお守りください。
 -  **危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
 -  **警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
 -  **注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。
- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」 を記載してあります。使用前に必ずお読みください。
- この取扱説明書はC F O 4仕様を基に作成されています。
C F O 3仕様、C F O 2仕様の場合は写真やイラストなどの一部が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

もくじ

はじめに	1
もくじ	2
安全に作業をするために	3
サービスと保証について	4
仕様 本製品の使用目的について	5～6
各部の名前	7
安全銘板の貼り付け位置	8
お使いになる前に	
1) 部品名及び明細	9
2) 梱包解体	10
3) 組立 本体部組立	11～12
本体部設置	13
後方指示ホルダー組立	14
配線方法	15
動作確認	16
作業のしかた	
1) 作業準備	17
2) 計量方法	18
作業上の注意事項	19～20
オプション30kg袋取り方法	21～22
作業後の手入れについて	23
点検・調整について	24～25
不調診断	26～27

安全に作業するために

ここに記載されている注意事項を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

●一般的な注意項目



警告

●疲労、病気、薬物の影響、その他の理由により、
作業に集中できない。

●お酒を飲んだとき

●妊娠しているとき

●18才未満の人

「守らないと」

思わぬ事故の原因になります。



警告

点検・整備には必ず電源を「OFF」にし
差し込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし
差し込みプラグを抜いてから行ってください。

差込プラグを
抜いて！！



注意

必ず作業前の点検をする

本機を使用する前に必ず作業前の点検を行い、異常箇所は
直ちに整備してから作業を始めてください。

また、作業終了時も点検を行って異常がないか
チェックしてください。

異常なし！

しっかりと
点検を！！



注意

カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで外したアングル、カバーなどは
必ず取り付けてください。

「取り付けないと」

倒壊や傷害事故を招く恐れがあります。



サービスと保証について

保証書について

「保証書」はお客さまが保証修理を受けられる際に必要となるものです。
お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときは26～27ページの「不調診断」に従って点検、処置し
なお不具合があるときには、下記の点を明確にしてお買い上げいただいた販売店までご連絡してください。

<連絡していただきたい内容>

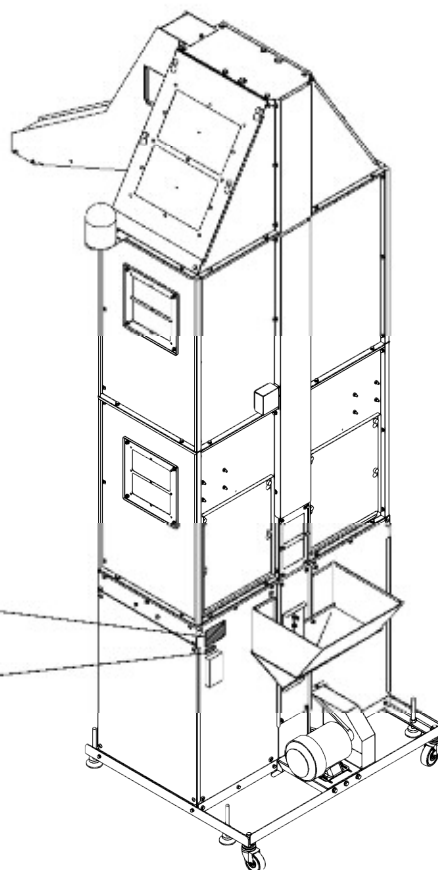
- 型式名と製造番号
- ご使用状況は？
- どのくらい使用されましたか？
(約□□時間使用後)
- 不具合が発生したときの状況を
できるだけ詳しく教えてください。

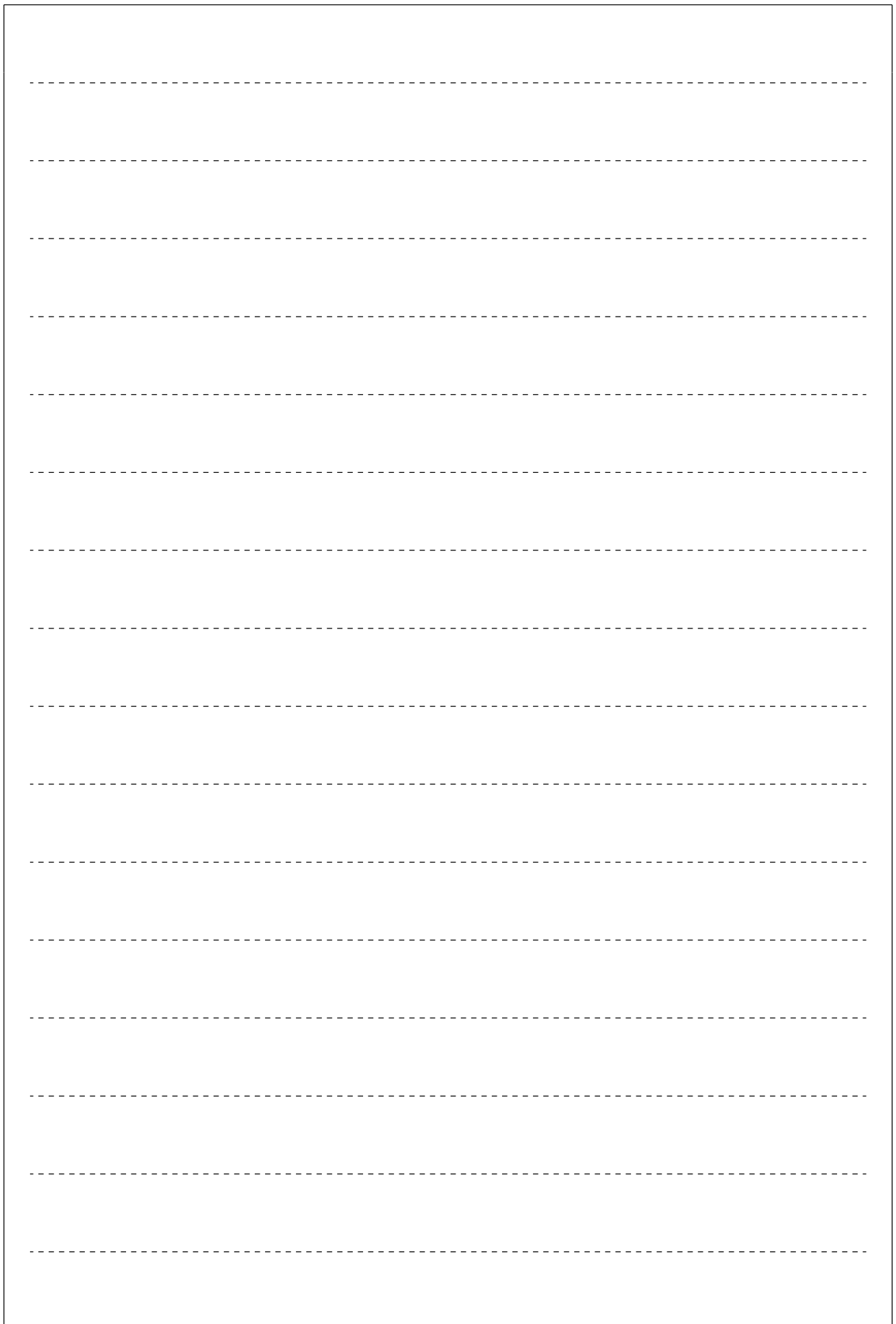
補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限（期間）は製造打切後8年です。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても部品供給の要請があった場合には納期および価格についてご相談させていただきます。

型式名

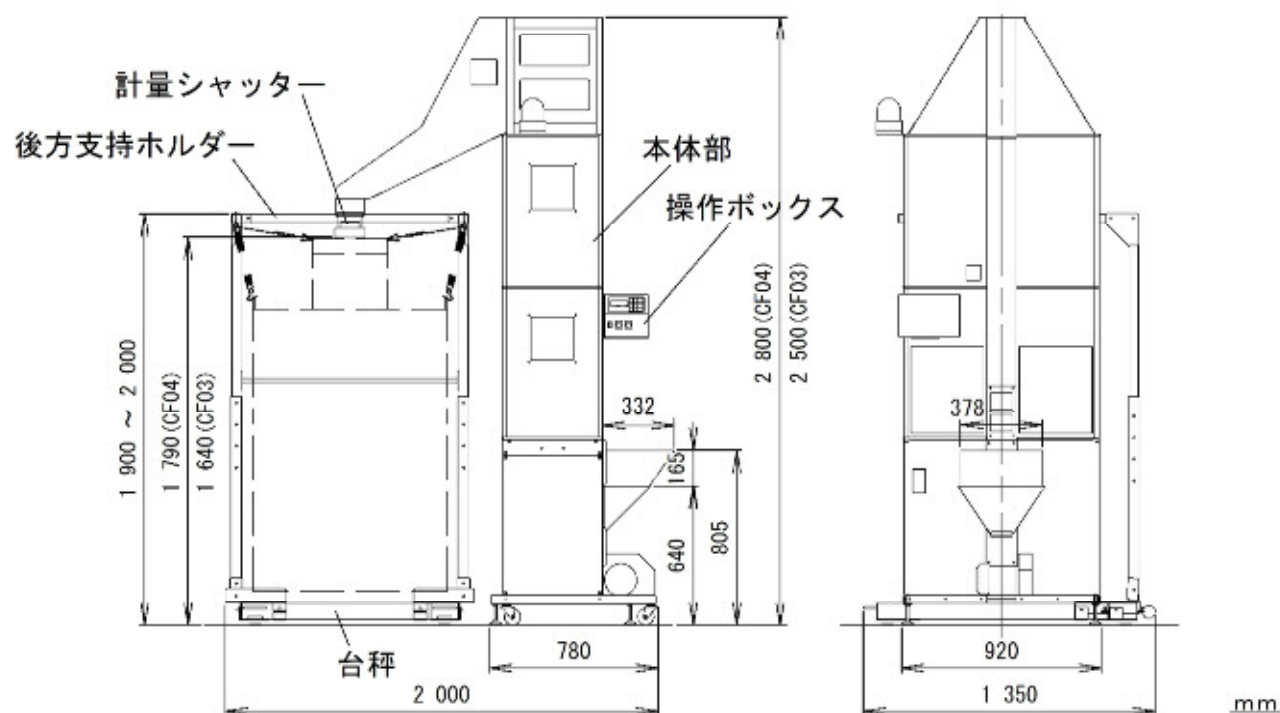
機体番号





仕様（CF04，CF03）

品 名	コンパクトフレコン(CF04)	コンパクトフレコン(CF03)
システム全体	本体部、操作ボックス、計量シャッター、後方支持ホルダー、秤	
全長×全幅×全高	2,000mm×1,350mm×2,800mm	2,000mm×1,350mm×2,500mm
機体重量	約 245kg	約 238kg
本体部		
全長×全幅×全高	780mm×920mm×2,800mm	780mm×920mm×2,500mm
機体重量	約 160kg	約 153kg
本体部貯留容量	約 400kg	約 300kg
最大処理能力	3,000kg（50俵）	
使用電源・出力	搬送：三相200V/400W 計量：100V	
秤量／目量	1,500kg／0.5kg	



本製品の使用目的について

本製品は米のフレコンバッグへの計量システムとしてご使用ください。

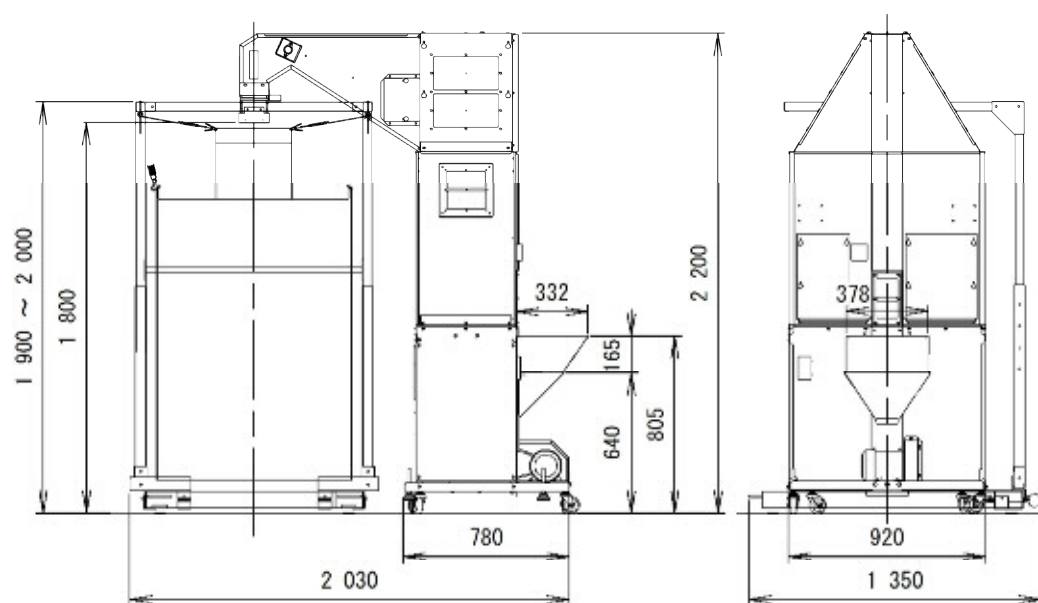
使用目的以外の作業や改造などは決してしないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

（詳細は、保証書をご覧ください。）

仕様（C F 0 2）

品 名	コンパクトフレコン（C F 0 2）
システム全体	本体部、操作ボックス、計量シャッター、後方支持ホルダー、秤
全長×全幅×全高	2,030mm × 1,350mm × 2,200mm
機体重量	約 232kg
本体部	
全長×全幅×全高	780mm × 920mm × 2,200mm
機体重量	約 147kg
最大処理能力	3,000kg（50俵）
使用電源・出力	搬送：三相200V/400W 計量：100V
秤量／目量	1,500kg／0.5kg
本体部貯留容量	約 200kg



mm

本製品の使用目的について

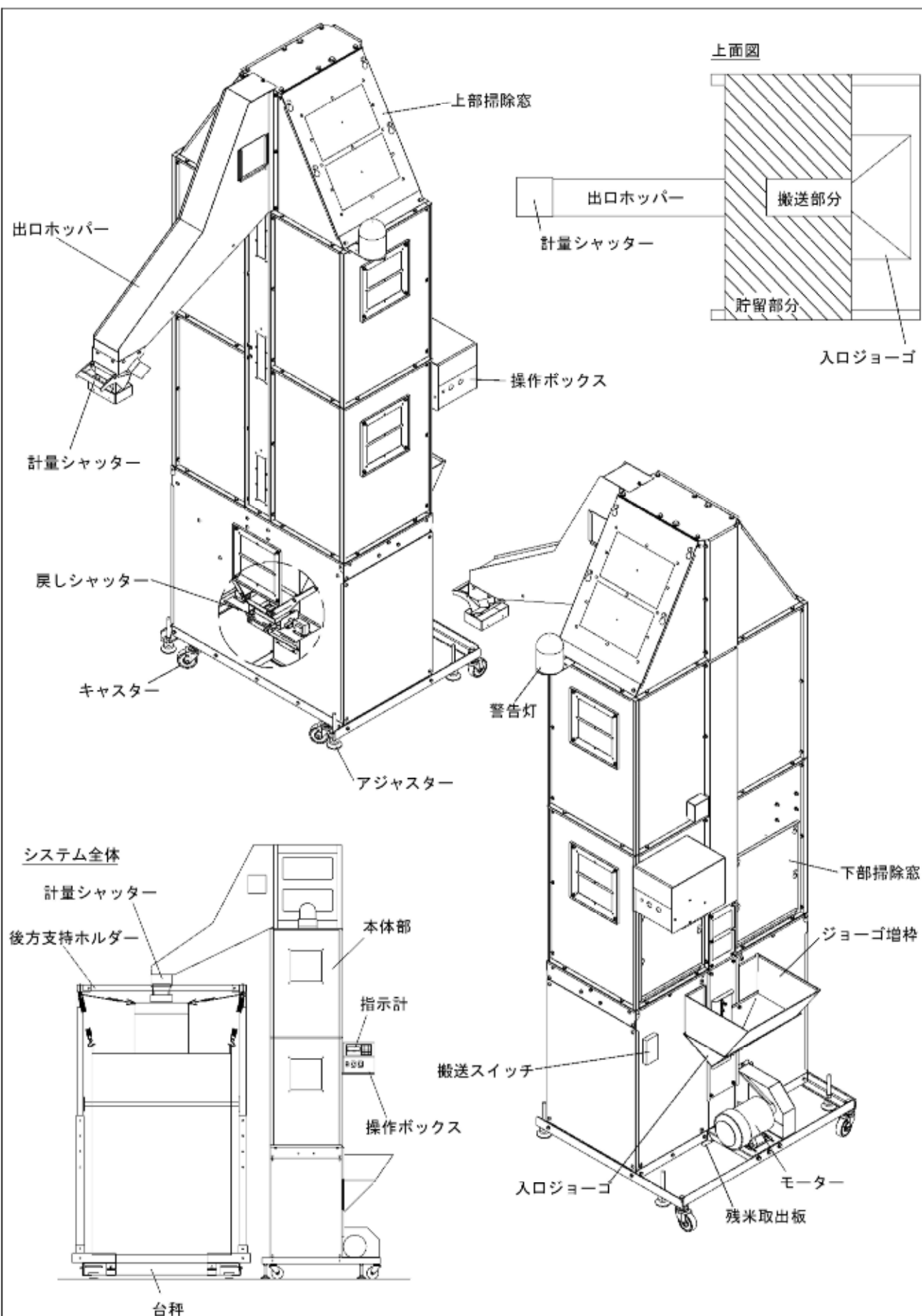
本製品は米のフレコンバッグへの計量システムとしてご使用ください。

使用目的以外の作業や改造などは決してしないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

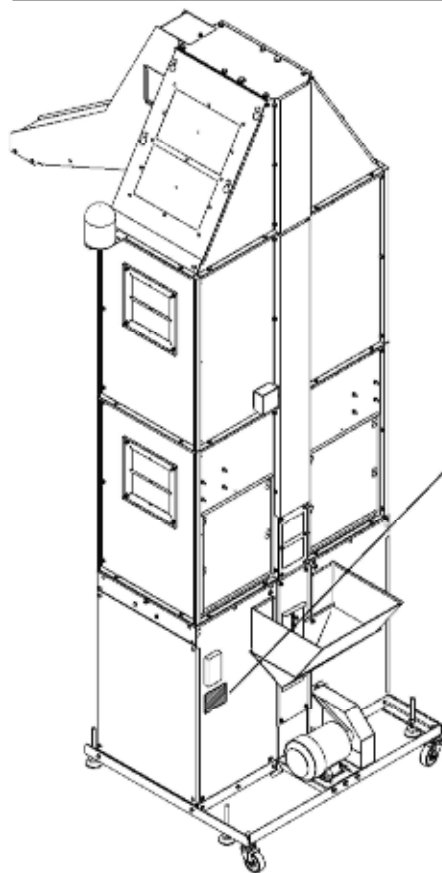
（詳細は、保証書をご覧ください。）

各部の名前



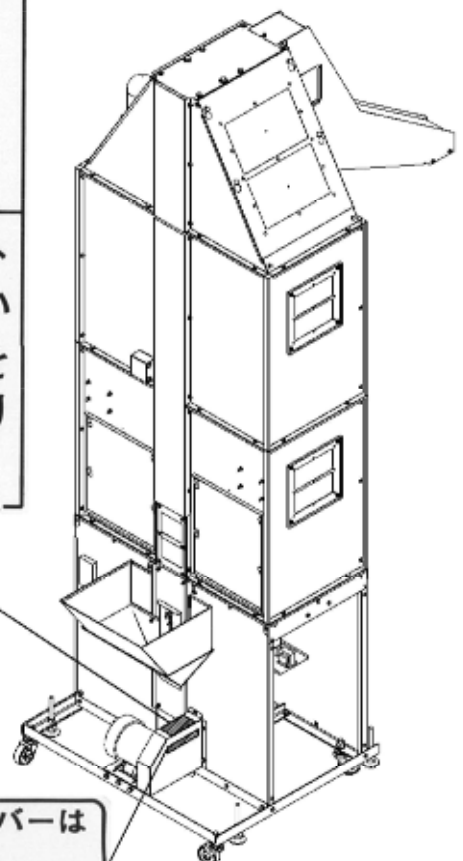
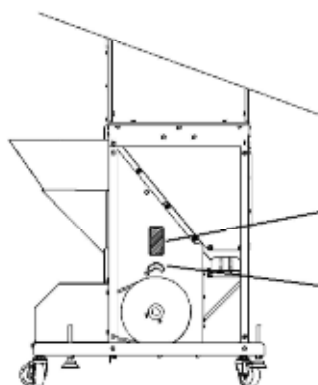
安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の位置を示したものです。安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。



注意	
点検時 モーター 停止	取扱説明書をよく読んで安全に作業してください。 ●電源を入れるときは、周囲の人がケガをしないように合図をし、安全の確認をしてください。 ●作業を中断したり、終了するときにはかならずスイッチを切り、差込プラグを抜いてください。
電源を入れたまま点検整備をするとケガをするおそれがありますので、必ず電源を「OFF」にし、差込プラグを抜いてください。	
S900-032	

注意
運転中は、ベルト部に手を触れないで下さい。ケガをするおそれがあります。
S900-003



注意		ベルトカバーなどの防護カバーは必ず装着してください。はずしたままで運転するとケガをするおそれがあります。
S900-016		

お使いになる前に

(1) 部品名及び明細

* コンパクトフレコンの梱包内容を確認してください。

仕様により梱包内容が異なります。

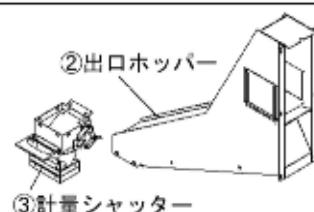
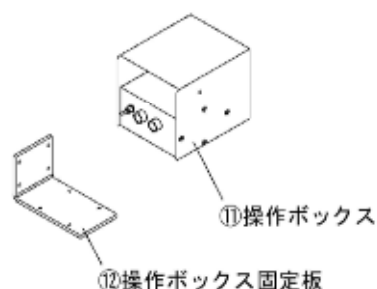
本体部以外は製品同梱の取扱説明書を参照してください。

本体部 (梱包①)

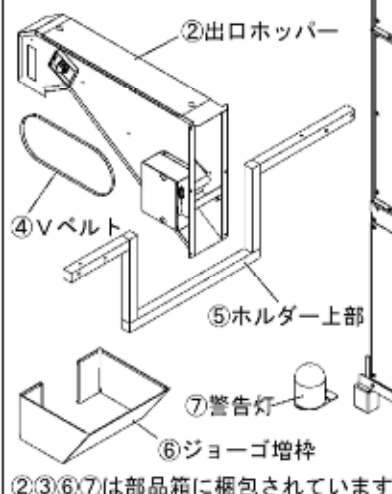
No.	名称	CF04	CF03	CF02	個数
①	本体部	○	○	○	1
②	出口ホッパー	○	○	○	1
③	計量シャッター	○	○	○	1
④	Vベルト			○	1
⑤	ホルダー上部			○	1
⑥	ジョーゴ増枠	○	○	○	1
⑦	警告灯	○	○	○	1

自動シャッター部 (梱包②)

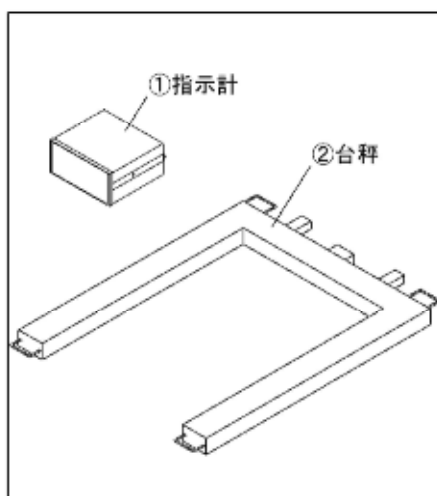
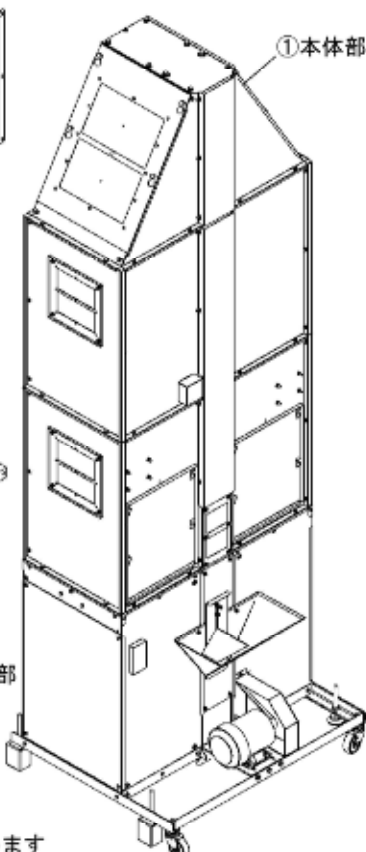
No.	名称	個数
⑪	操作ボックス	1
⑫	操作ボックス固定板	1



CF03 タイプは
② 出口ホッパーと
③ 計量シャッターが
一体型になっています。



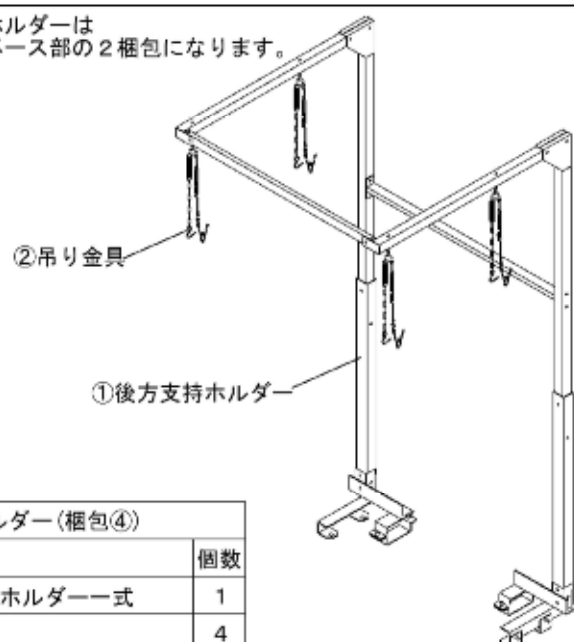
②③⑥⑦は部品箱に梱包されています



秤 (梱包③)

No.	名称	個数
①	指示計	1
②	台秤	1

* 後方支持ホルダーは
共通部、ベース部の2梱包になります。



後方支持ホルダー (梱包④)

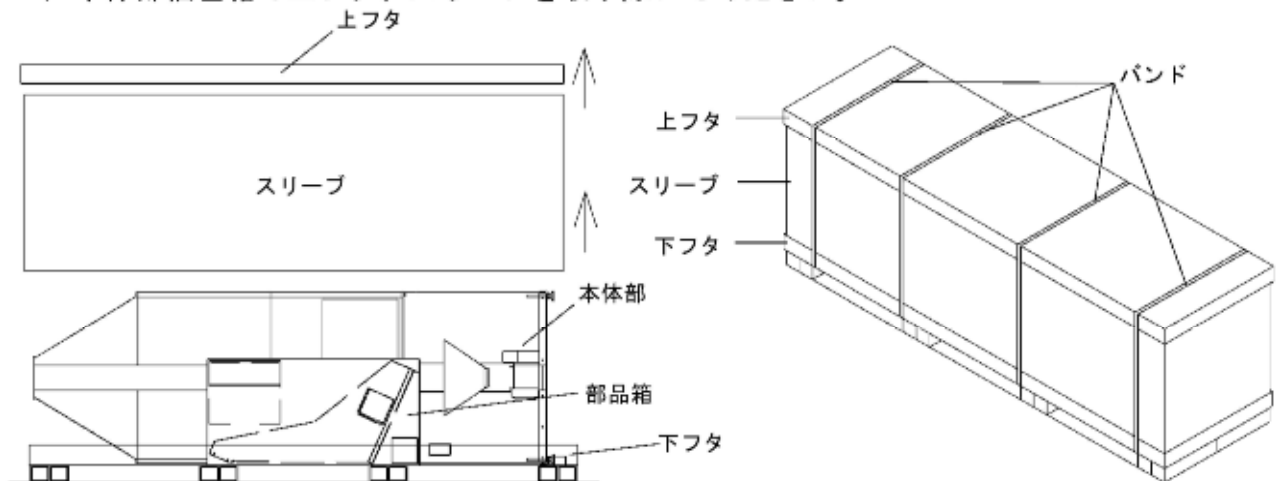
No.	名称	個数
①	後方支持ホルダー一式	1
②	吊り金具	4

お使いになる前に

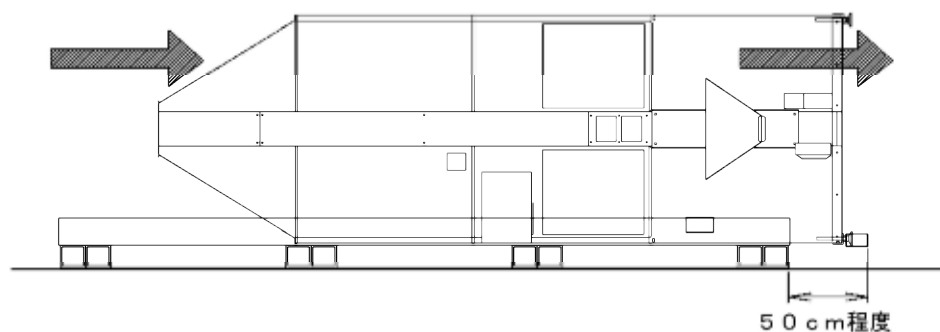
(2) 梱包解体

* コンパクトフレコンの梱包を解体して本体部を取り出してください。

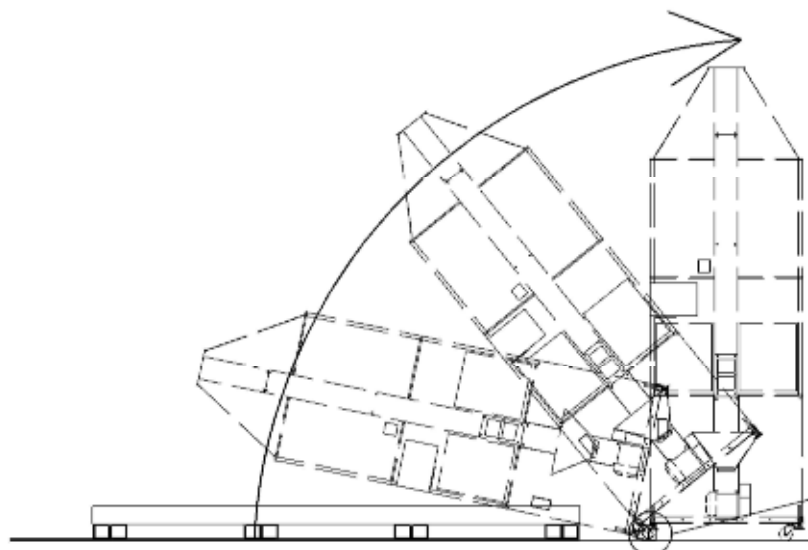
- 1) 本体部梱包箱のバンド(4箇所)を取り外してください
- 2) 本体部梱包箱の上フタ、スリーブを取り除いてください。



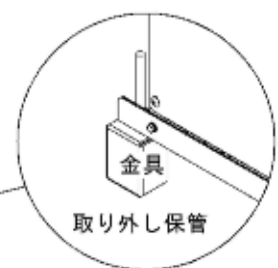
- 3) 下フタ内の部品箱を取り出してください。
- 4) 下フタに載ってる本体部を立て起こしやすいように下図のように移動してください。
→ 本体部が傷つかないように養生等を行い移動させてください。



- 5) 本体部を立て起こしてください。
→ 本体部を立て起こす時は必ず2人以上で周囲に注意を払いながら作業をしてください。
本体部に過剰な衝撃が伝わらないように注意しながら本体部を立て起こしてください。



- 5) 本体部を立て起こした後はアジャスターに付いている金具は不要です。取り外して保管しておいてください。



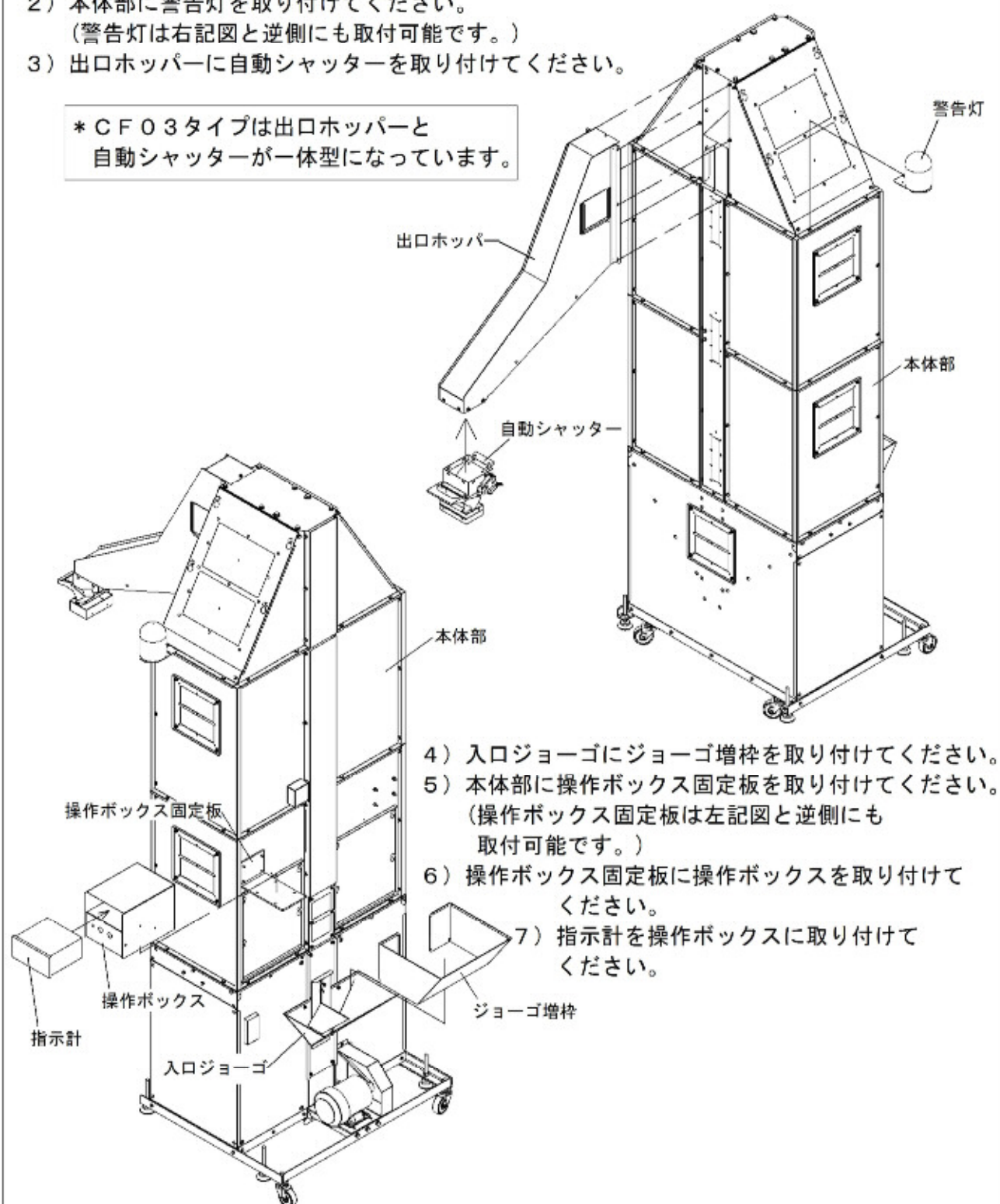
お使いになる前に (CF04、CF03)

注意 コンパクトフレコンを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して落下転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

(3) 組立 本体部組立 (CF04、CF03)

- 1) 本体部に出口ホッパーを取り付けてください。
- 2) 本体部に警告灯を取り付けてください。
(警告灯は右記図と逆側にも取付可能です。)
- 3) 出口ホッパーに自動シャッターを取り付けてください。

* CF03タイプは出口ホッパーと自動シャッターが一体型になっています。



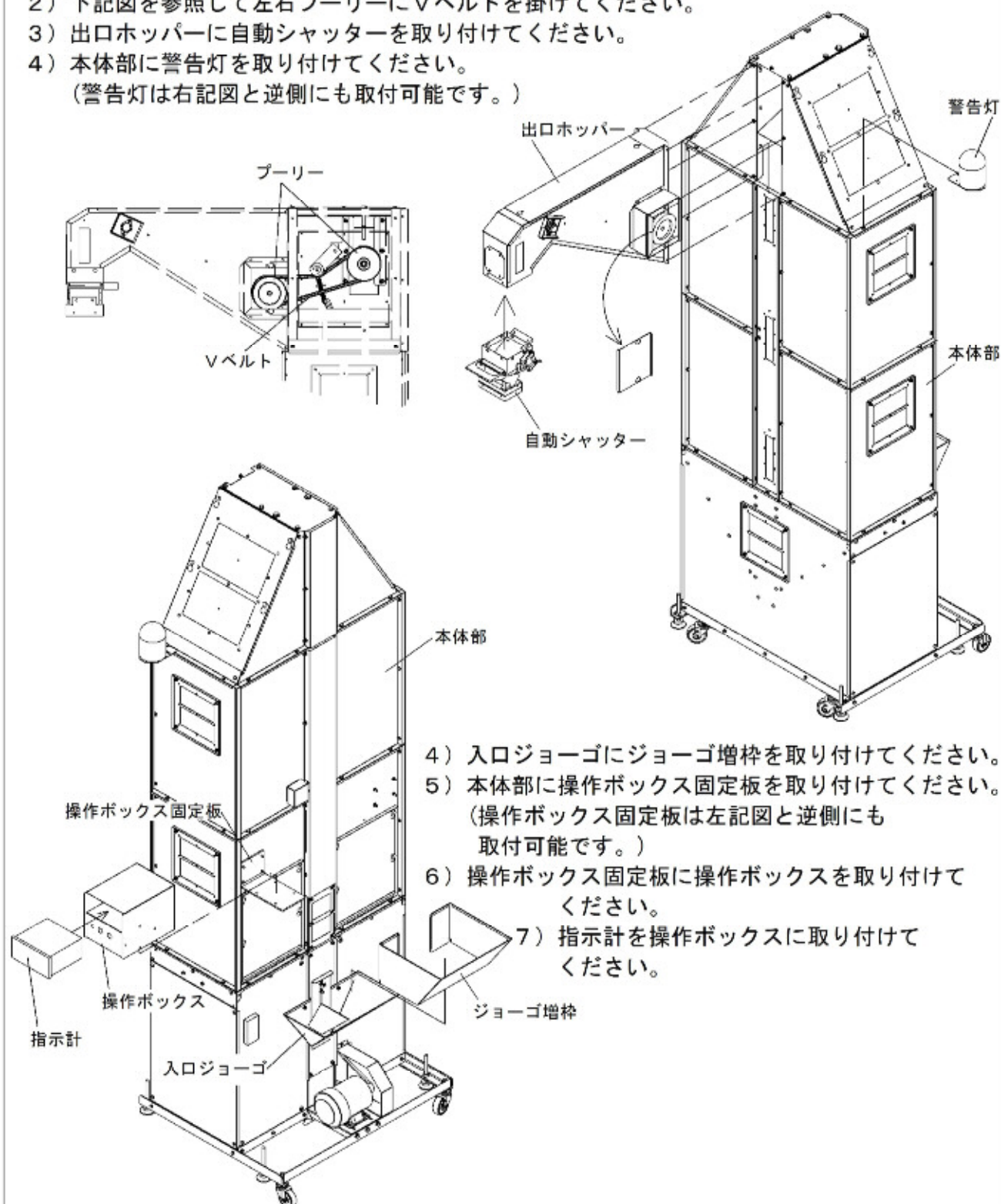
- 4) 入口ジョーゴにジョーゴ増枠を取り付けてください。
- 5) 本体部に操作ボックス固定板を取り付けてください。
(操作ボックス固定板は左記図と逆側にも取付可能です。)
- 6) 操作ボックス固定板に操作ボックスを取り付けてください。
- 7) 指示計を操作ボックスに取り付けてください。

お使いになる前に (C F O 2)

▲ 注意 コンパクトフレコンを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して落下転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

(3) 組立 本体部組立(C F O 2)

- 1) 本体部に出口ホッパーを取り付けてください。
- 2) 下記図を参照して左右プーリーにVベルトを掛けてください。
- 3) 出口ホッパーに自動シャッターを取り付けてください。
- 4) 本体部に警告灯を取り付けてください。
(警告灯は右記図と逆側にも取付可能です。)

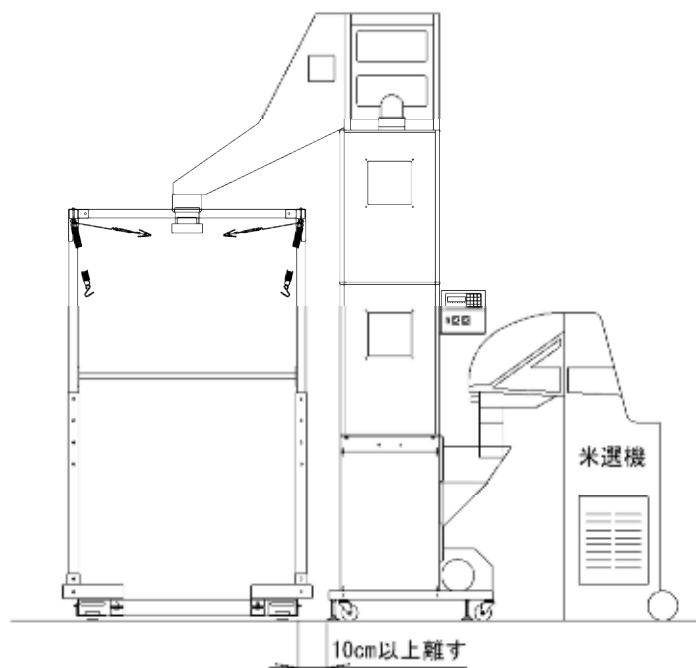
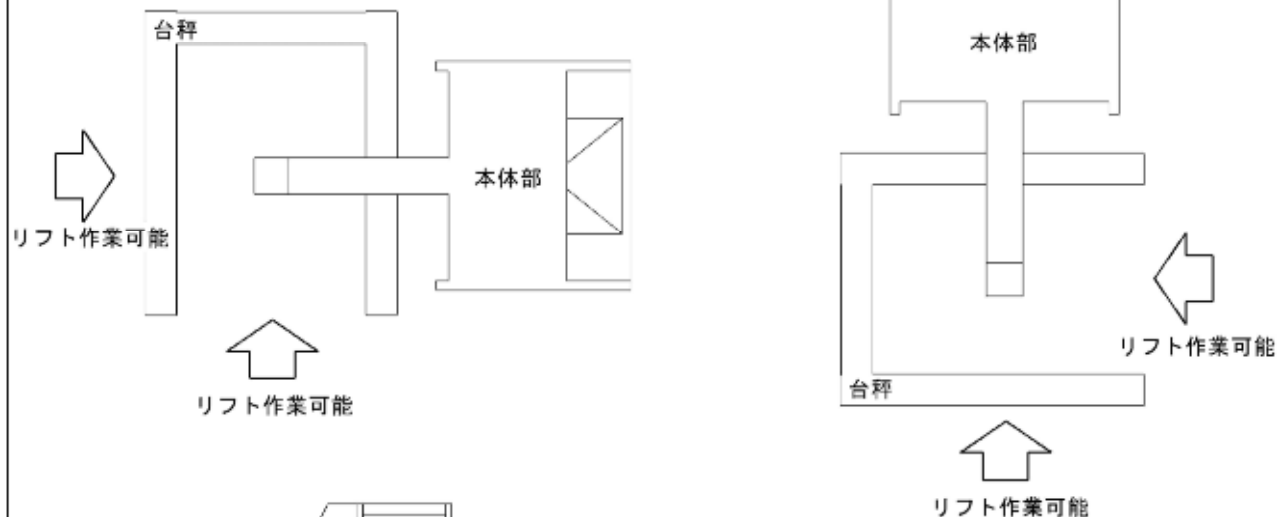


お使いになる前に

▲ 注意 コンパクトフレコンを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して落下転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

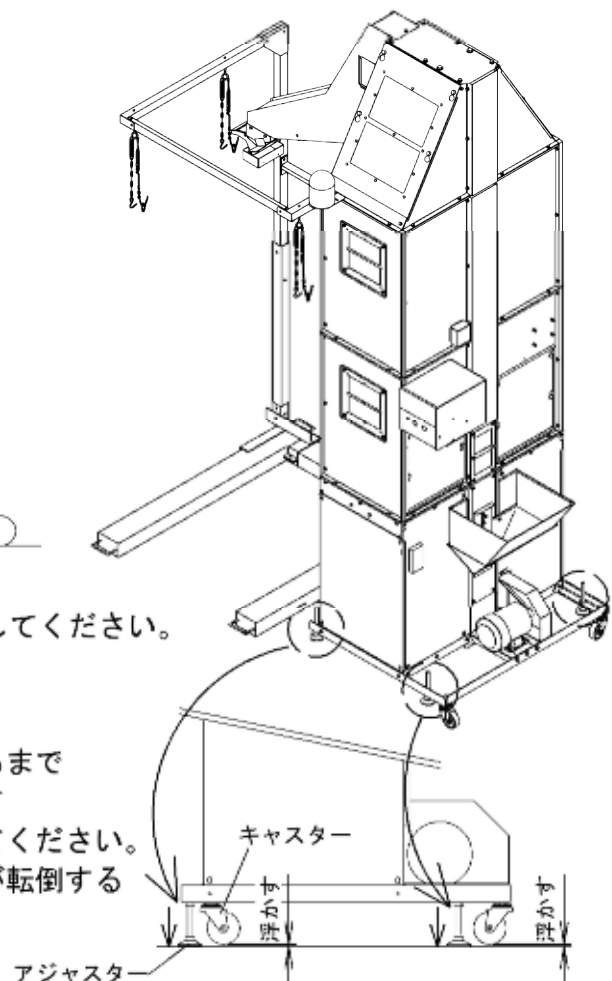
(3) 組立 本体部設置

1) 下記図を参照して本体部を設置してください。



注意：台秤と本体部は10cm以上離して設置してください。

注意：本体設置後、キャスターが浮き上がるまで必ずアジャスター(4箇所)を降ろして本体部がガタ付かないように調節してください。アジャスターで固定しないと本体部が転倒するおそれがあります。



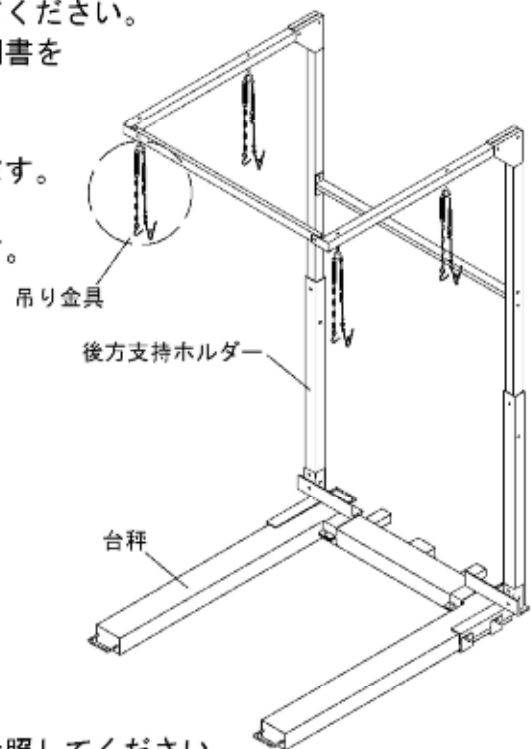
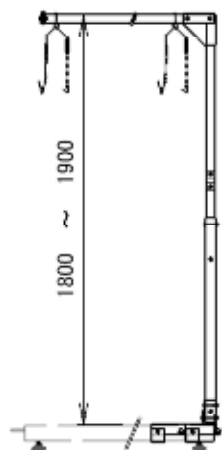
お使いになる前に

▲ 注意 コンパクトフレコンを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して落下転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

(3) 組立 後方支持ホルダー組立

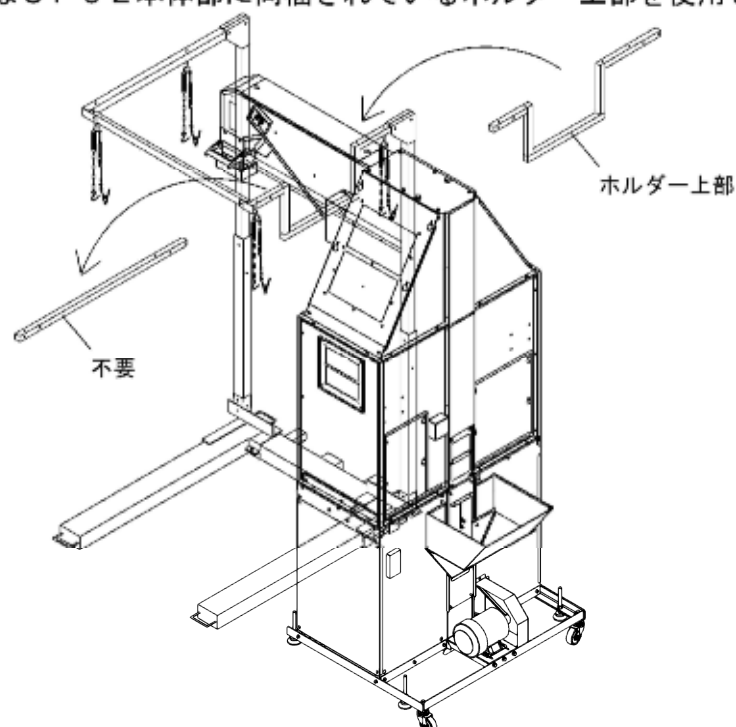
- 1) 台秤を設置して後方支持ホルダーを取り付けてください。
(組立詳細は後方支持ホルダー同梱の取扱説明書を参照してください。)

参考：後方支持ホルダーは高さが5段階調節できます。
コンパクトフレコンに最適な高さは下から2段階目、もしくは最下位が最適な高さです。



秤の取扱に関しては秤に同梱の取扱説明書を参照してください。

* C F O 2 仕様はC F O 2 本体部に同梱されているホルダー上部を使用してください。

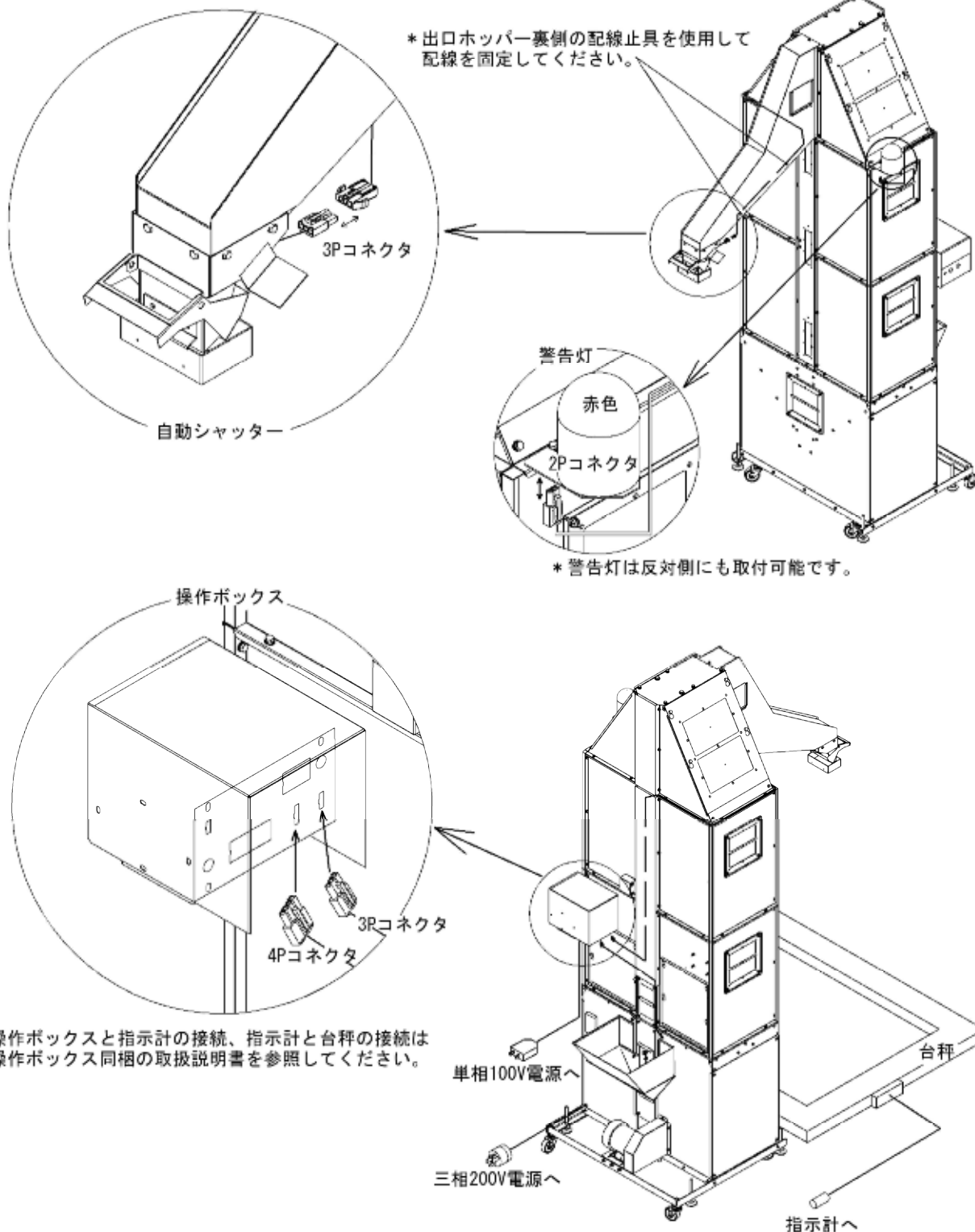


お使いになる前に

▲ 注意 コンパクトフレコンを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して落下転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

(3) 組立 配線方法

1) 下記図を参照して各種配線をしてください。

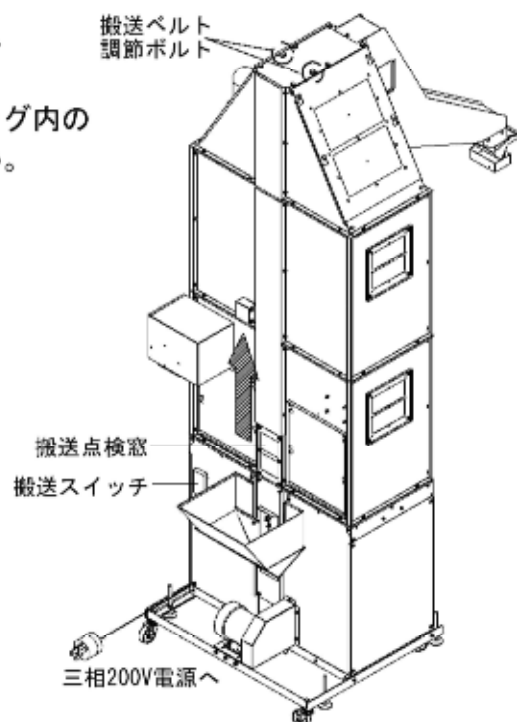
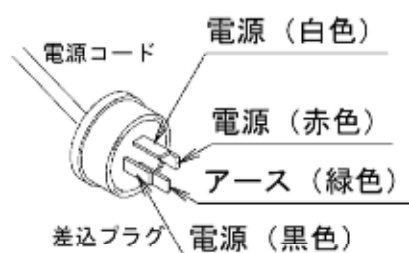


お使いになる前に

▲ 注意 コンパクトフレコンを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して落下転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

(3) 組立 動作確認

- 1) 差込プラグ（三相200V）をコンセントに差し込み、搬送スイッチのONボタンを押してください。
- 2) 搬送点検窓で搬送ベルトが右図の矢印の方向へ回転しているか確認してください。
参照：搬送ベルトが逆回転する場合は差込プラグ内の配線の赤線と黒線を入れ替えてください。

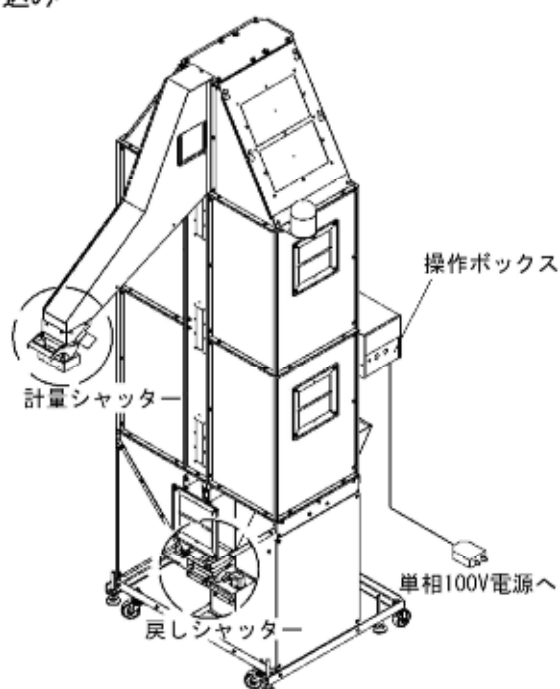
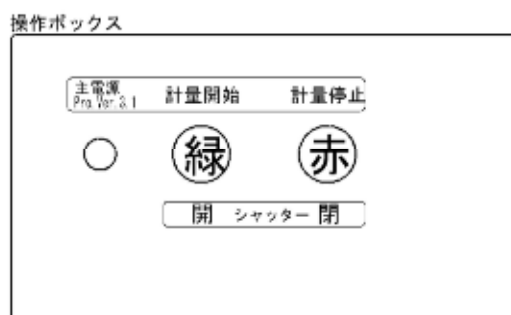


- 3) 搬送点検窓で搬送ベルトが異音や振動無くスムーズに回転しているか確認してください。
搬送ベルトの片寄りや張りが弱い場合は搬送ベルト調節ボルトを回して搬送ベルトの片寄りや張りを調節してください。
→調節方法はP23を参照してください。

- 4) 差込プラグ（単相100V）をコンセントに差し込み操作ボックスの主電源をONにしてください。
- 5) 操作ボックスの緑ボタン、赤ボタンを押しシャッターの開閉動作を確認してください。

●緑ボタンを押すと
→計量シャッター、戻しシャッター共に開く

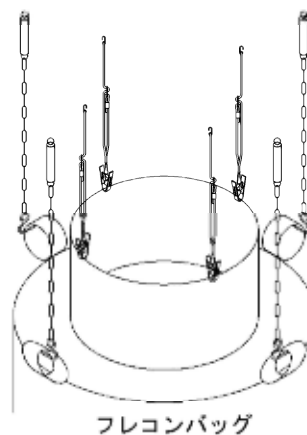
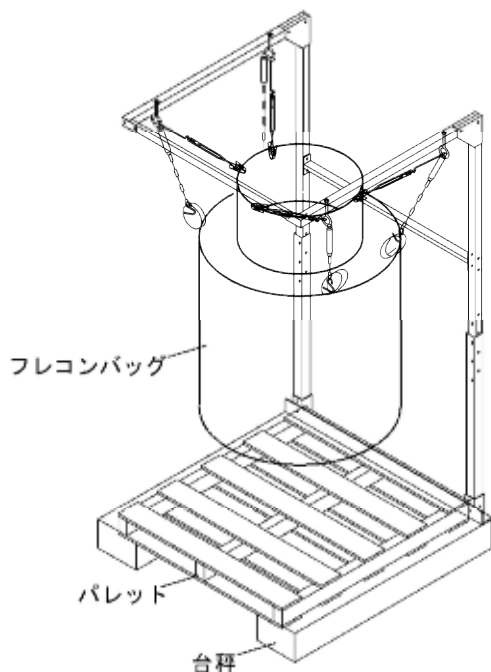
●赤ボタンを押すと
→計量シャッター、戻しシャッター共に閉じる



作業のしかた

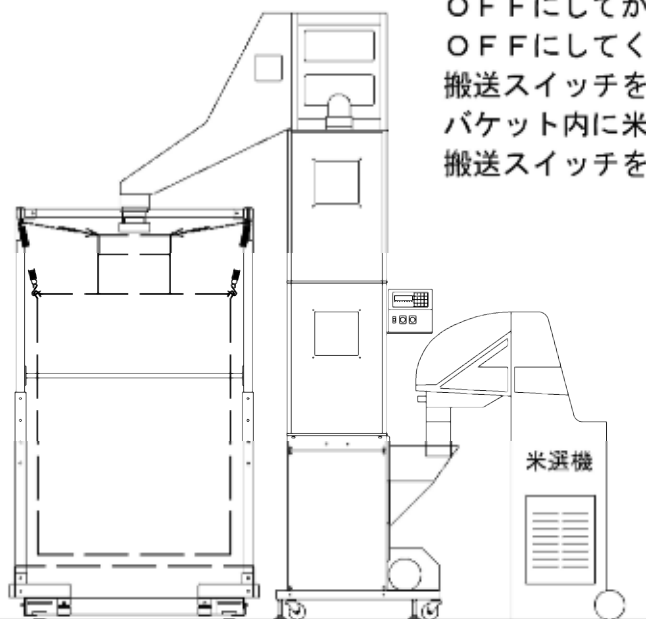
(1) 作業準備

- 1) 台秤の上にパレットを載せてください。
- 2) フレコンバッグがパレットより数cm浮くように吊りチェーン、吊りゴムの長さを調節してフレコンバッグを取り付けてください。



- 3) コンパクトフレコンの搬送スイッチをONにしてください。搬送ベルトが作動します。
注意：必ずコンパクトフレコンのスイッチをONにしてから、米選機のスイッチをONにしてください。スイッチを入れる順序をあやまるとコンパクトフレコンの搬送部分が詰まったり溢れたりする恐れがあります。

注意：作業が終了して運転を停止する時は米選機のスイッチをOFFにしてから、コンパクトフレコンの搬送スイッチをOFFにしてください。また、コンパクトフレコンの搬送スイッチをOFFにする時は、必ずコンパクトフレコンのバケット内に米が無い状態(米を全て流し切った状態)で搬送スイッチをOFFにしてください。

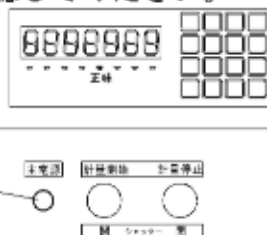


作業のしかた

(2) 計量方法

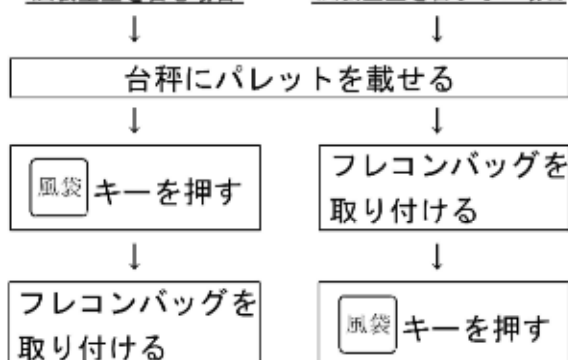
- 1) 操作ボックスの主電源をオンにしてください。
→指示計の電源が入ります。正味ランプが点灯しているのを確認してください。

オン

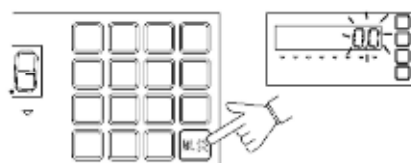


* 指示計は仕様により異なります。

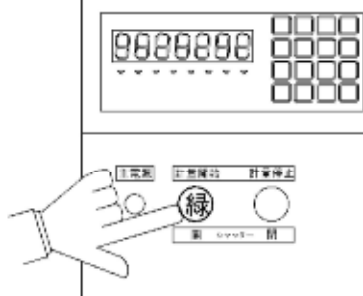
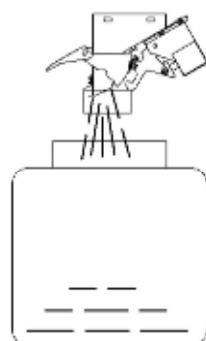
- 2) 下記の作業順序に注意してください。
風袋重量を含む場合 風袋重量を含まない場合



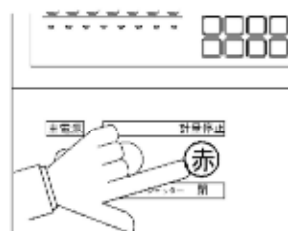
風袋 キーの位置は指示計により異なります。



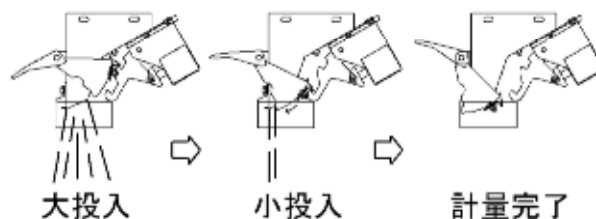
- 3) 操作ボックスの緑ボタンを押してください。
→シャッターが開き、計量が始まります。



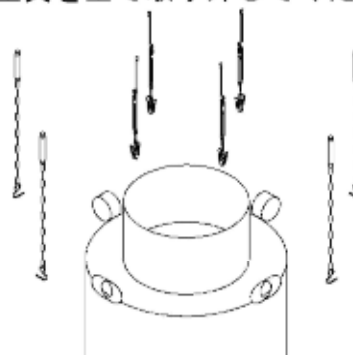
- 4) 計量を途中で一時停止させたい場合は赤ボタンを押してください。
→シャッターが閉じ、計量が停止します。
計量を再開するときは 3) を実施してください。



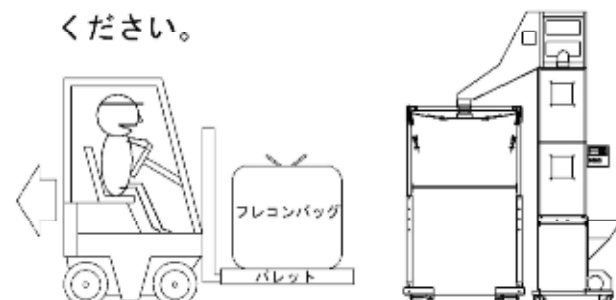
- 5) 定量の数キロ前でシャッターが大投入から小投入に切り替わります。
6) 定量になったら自動でシャッターが閉じ計量が完了します。



- 7) フレコンバッグホルダーからフレコンバッグの吊り下げ金具を全て取り外してください。



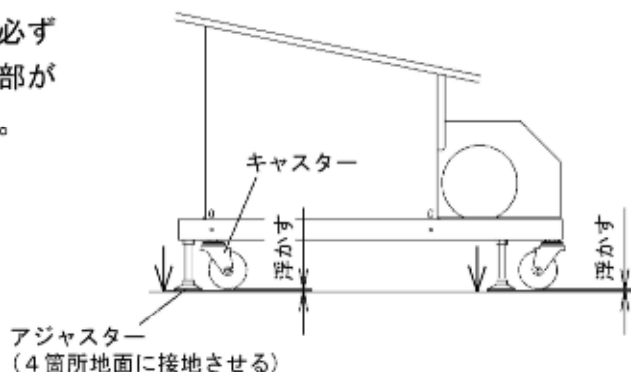
- 8) パレットごとフレコンバッグを取り出して
ください。



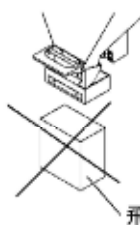
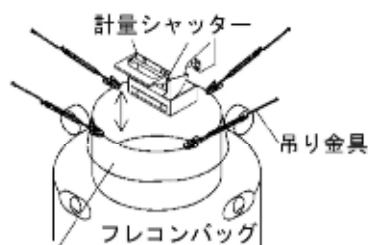
- 9) 再度計量を行う場合は 2) から作業を繰り返してください。

作業上の注意事項

- 1) 作業時はキャスターが浮き上がるまで必ずアジャスター(4箇所)を降ろして本体部がガタ付かないように調節してください。アジャスターで固定しないと本体部が転倒する恐れがあります。



- 2) フレコンバッグを取り付けた時に、計量シャッターがフレコンバッグに触れていると計量値に誤差が生じます。フレコンバッグ入口部分に計量シャッターが接触しないように吊り金具を調整してフレコンバッグを取り付けてください。

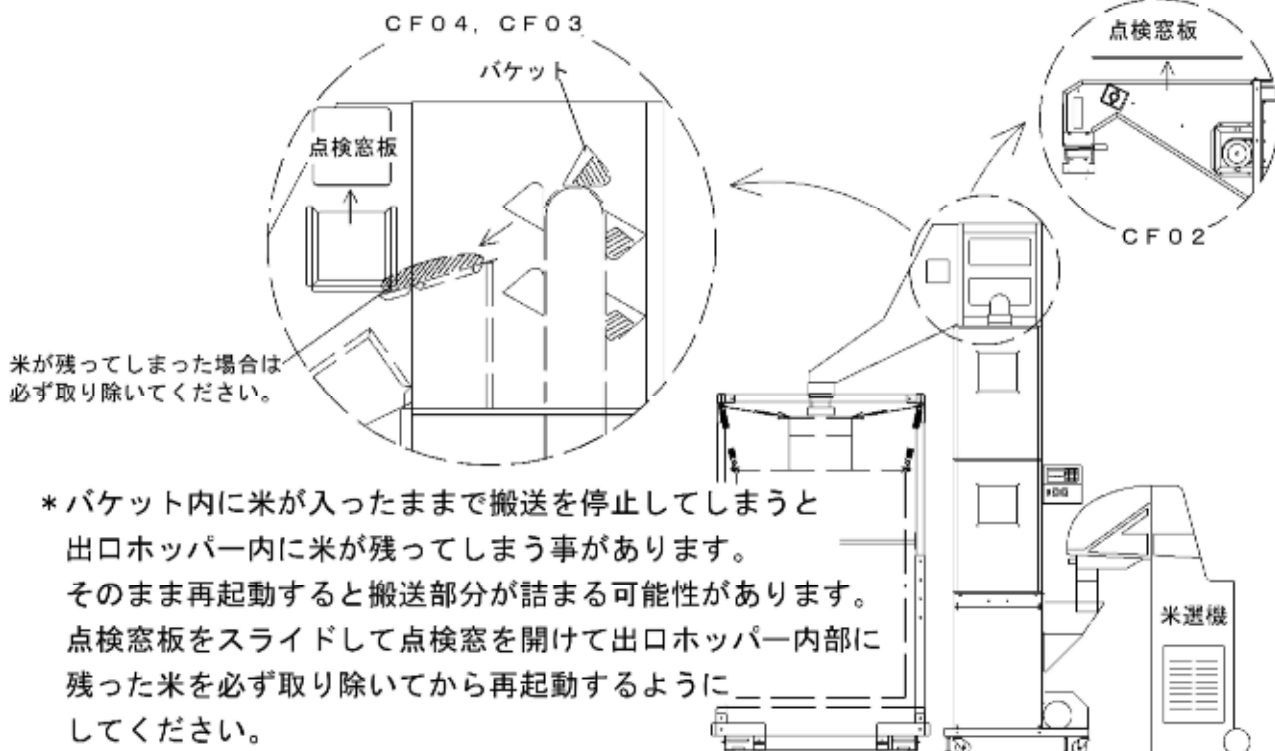


* 計量シャッターとフレコンバッグの入口部分が近接している場合は飛散防止ビニールを取りつせずに作業を行ってください。

飛散防止ビニール

* フレコンバッグの入口が長い時は入口部分を二つ折りしてください。

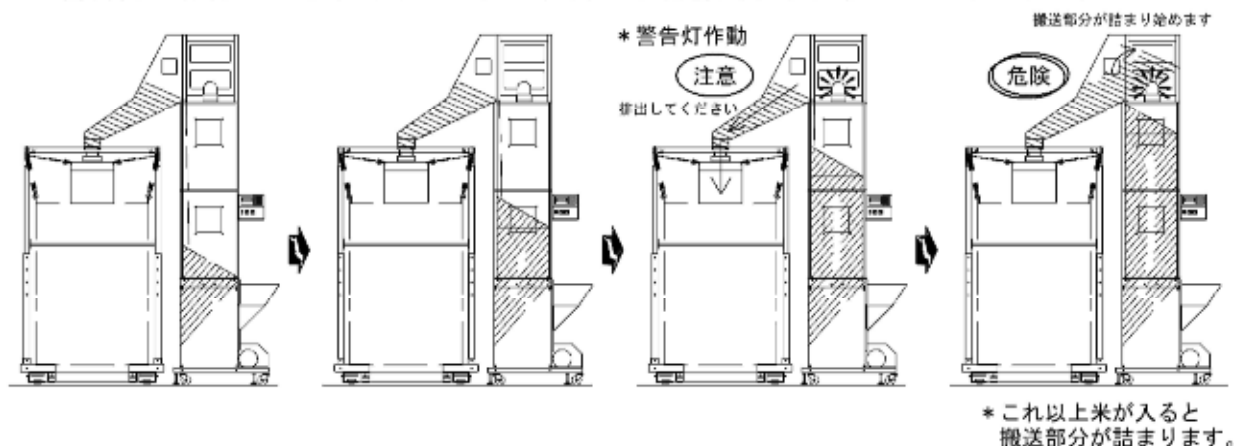
- 3) コンパクトフレコンの搬送部分を停止する時は、米選機(色選)等の直前の機械を停止してから搬送スイッチをOFFにしてください。必ずコンパクトフレコンのバケット内に米が無い状態(米を全て流し切った状態)で搬送スイッチをOFFにしてください。



* バケット内に米が入ったまま搬送を停止してしまうと出口ホッパー内に米が残ってしまうことがあります。そのまま再起動すると搬送部分が詰まる可能性があります。点検窓板をスライドして点検窓を開けて出口ホッパー内部に残った米を必ず取り除いてから再起動するようにしてください。

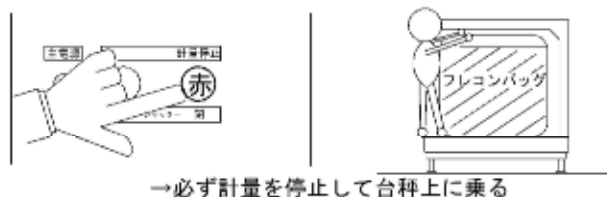
作業上の注意事項

- 4) 本製品のタンク内の貯留容量はCF04 (約400kg)、CF03 (約300kg)、CF02 (約200kg) です。
貯留容量以上タンク内に米が入ると搬送部分が詰まってしまいます。貯留容量の約100kg手前で警告灯が作動し音と光でお知らせするようになっています。
警告灯が作動したらすみやかにタンク内の米を排出するようにしてください。

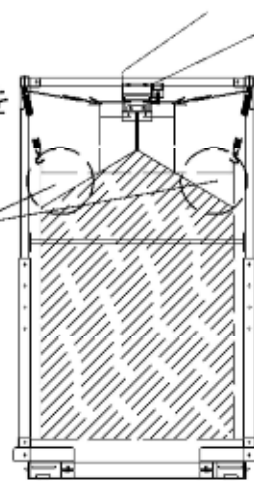


- 5) フレコンバッグの形状、サイズによってはフレコンバッグの4隅に米が流れ込まない場合があります。
そういった場合は定量付近(定量の約50～100kg手前)で計量を一時停止してフレコンバッグ内をならしてください。

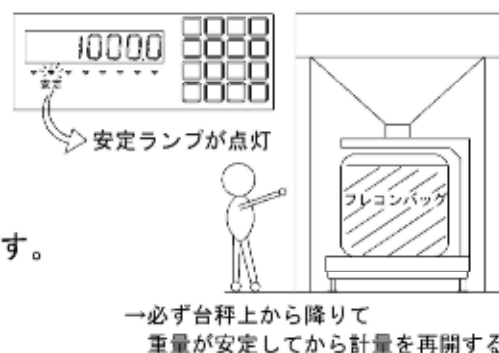
- * 定量付近で台秤上に乗る場合は
→必ず計量を停止して台秤上に乗るようにしてください。
計量を停止しないで人が台秤に乗ると、人の体重で定量に達してしまい誤作動を引き起こすことがあります。



米が流れ込まない



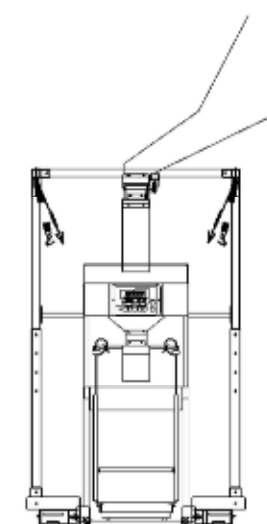
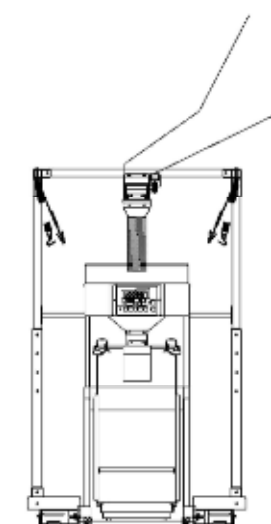
- * 定量付近で計量を再開する場合は
→必ず台秤上から人が降りて、重量値が安定してから計量を再開してください。
人が乗った状態で計量を再開したり、重量が安定していない状態で計量を再開すると定量値でシャッターが閉まらないことがあります。



オプション30kg袋取り方法

U字型秤の間にオプションのネオスケールをセットすると30kg袋取りができます。

- 1) U字型秤の間にネオスケールをセットしてください。
- 2) シャッター出口延長やホース、ビニール等を使用し
出口ホッパーから排出される米がネオスケール
ホッパー内に供給されるようにセットしてください。



オプション
シャッター出口延長
FBH-OP28



オプション30kg計量器
ネオスケール
NSS35B

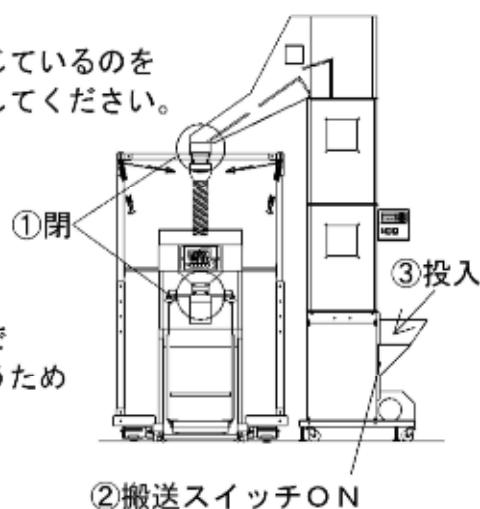
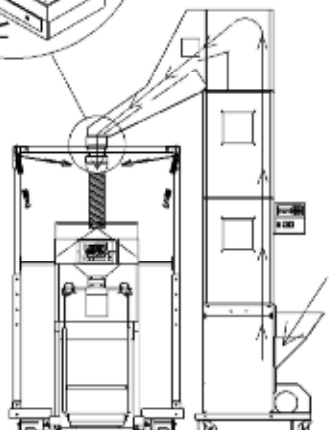
作業の仕方

- 1) コンパクトフレコン、ネオスケールのシャッターが閉じているのを
確認してコンパクトフレコンの搬送スイッチをONにしてください。
- 2) コンパクトフレコンに米を供給してください。

- 3) コンパクトフレコンの計量シャッターを手で開放し
ネオスケールに米を供給してください。
→操作ボックスのシャッター開ボタンで
開くと戻しシャッターも開いてしまうため
必ず計量シャッターを手で開放して
ください。



手で押すと
開く



②搬送スイッチON

- 4) ネオスケールで30kg袋取り作業を行ってください。
→ネオスケールの使用方法はネオスケール同梱の
取扱説明書を参照してください。

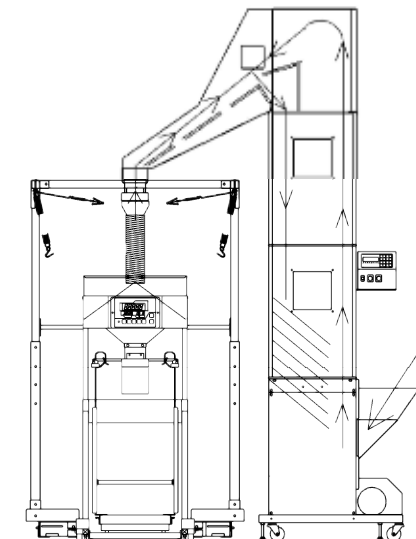
別売りオプション

ネオスケール

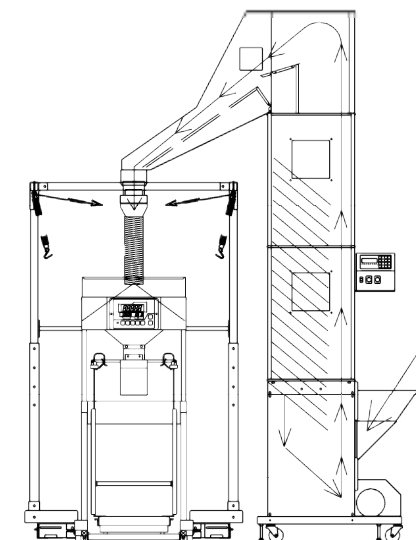
シャッター出口延長

オプション 30kg 袋取り方法

- 5) ネオスケールの30kg計量が終わりネオスケールのシャッターが閉じると米は出口ホッパー内を逆流し一時的にコンパクトフレコン内の貯留部分に溜まります。継続して30kg袋取りを続けてください。



- 6) コンパクトフレコン内の貯留部分に溜まった米を排出する場合は操作ボックスのシャッター開くボタンを押すと戻しシャッターが開き搬送部分を経由し出口ホッパーへ排出されます。30kg袋取りをしながら貯留部分の溜まった米を排出してください。



- 7) コンパクトフレコン内の貯留部分に溜まった米が全て排出されたら一度操作ボックスのシャッター閉ボタンを押してください。計量シャッター、戻しシャッターともに閉じます。30kg袋取り作業を続ける場合は 3) から作業を繰り返してください。

作業後の手入れについて

▲ 注意 タンク内を掃除するときは十分に足場を確保して落下、転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

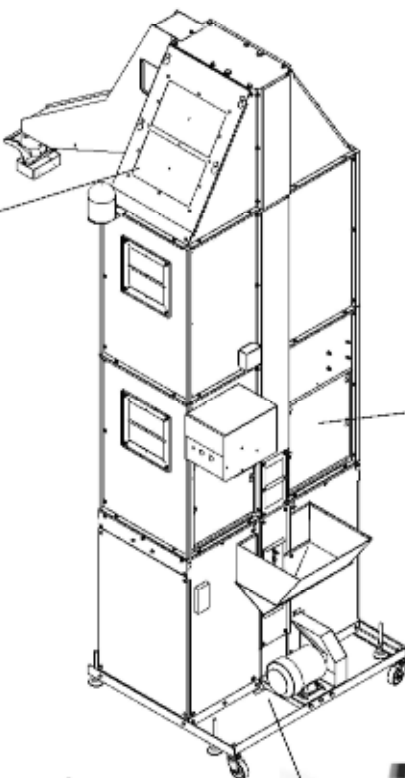
(1) 貯留部分の清掃

- 1) 出口ホッパー、本体内部の米を全て排出後、上部掃除窓、下部掃除窓を外して本体内部をお手持ちのエアガン等で清掃してください。

上部掃除窓



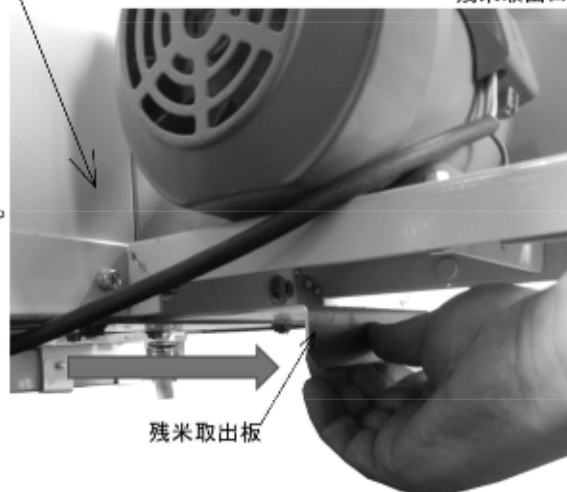
下部掃除窓



(2) 搬送部分の残米取り出し

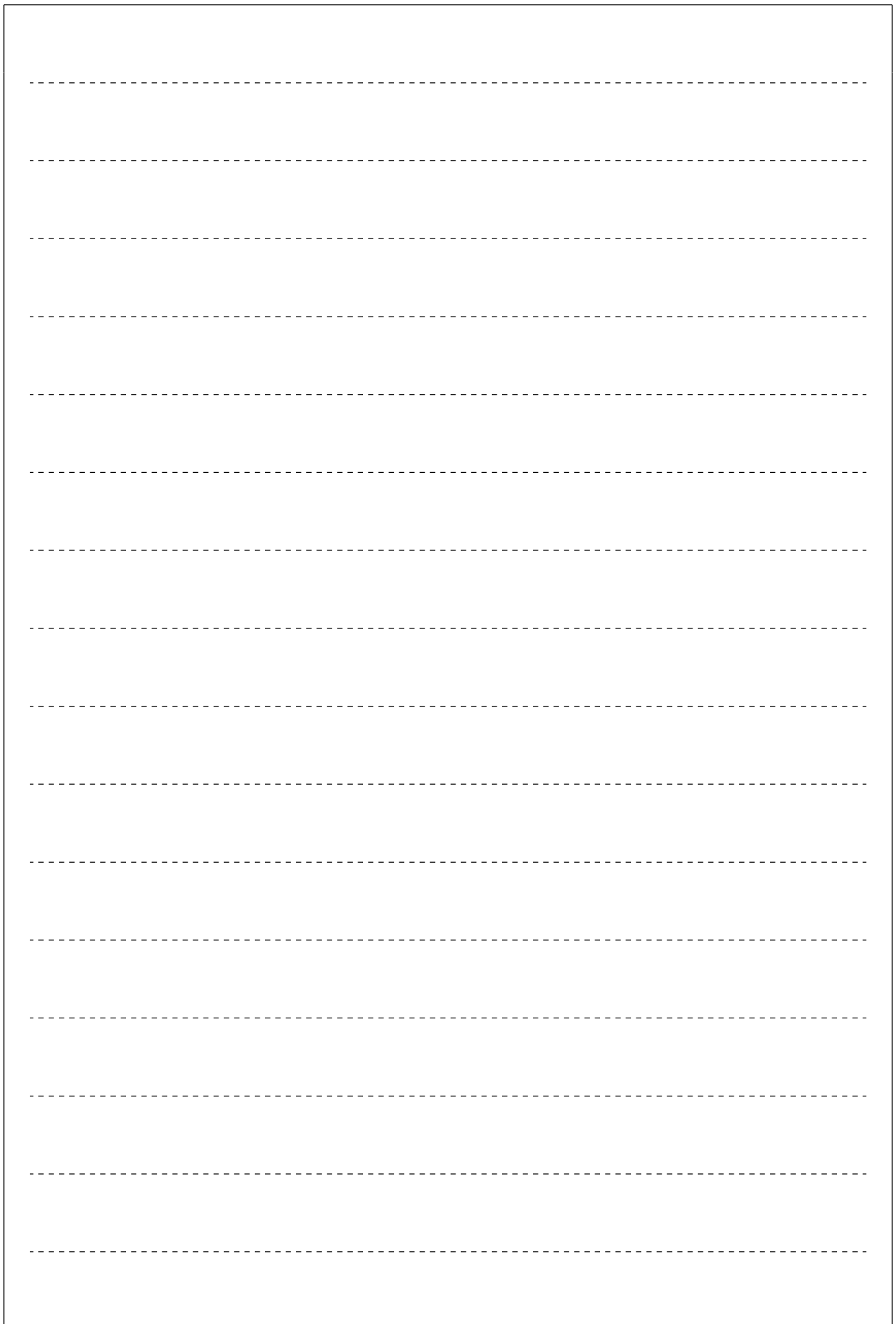
- 1) 本体下部の残米取出口から搬送部分の残米を取り出してください。
→ 本体部の下に箱等の受けをセットし、残米取出板を引いて残米を排出してください。残米排出後は残米取出板を元通りに戻してください。

残米取出口



(3) 長時間使用しない場合のお手入れ

- 1) 差込プラグを外してください。
→ 配線類のネズミのかじりに注意してください。
- 2) 本体内部にネズミ等が侵入しないように入口ジョーゴ、計量シャッターを閉め厚手のビニール等で覆ってください。



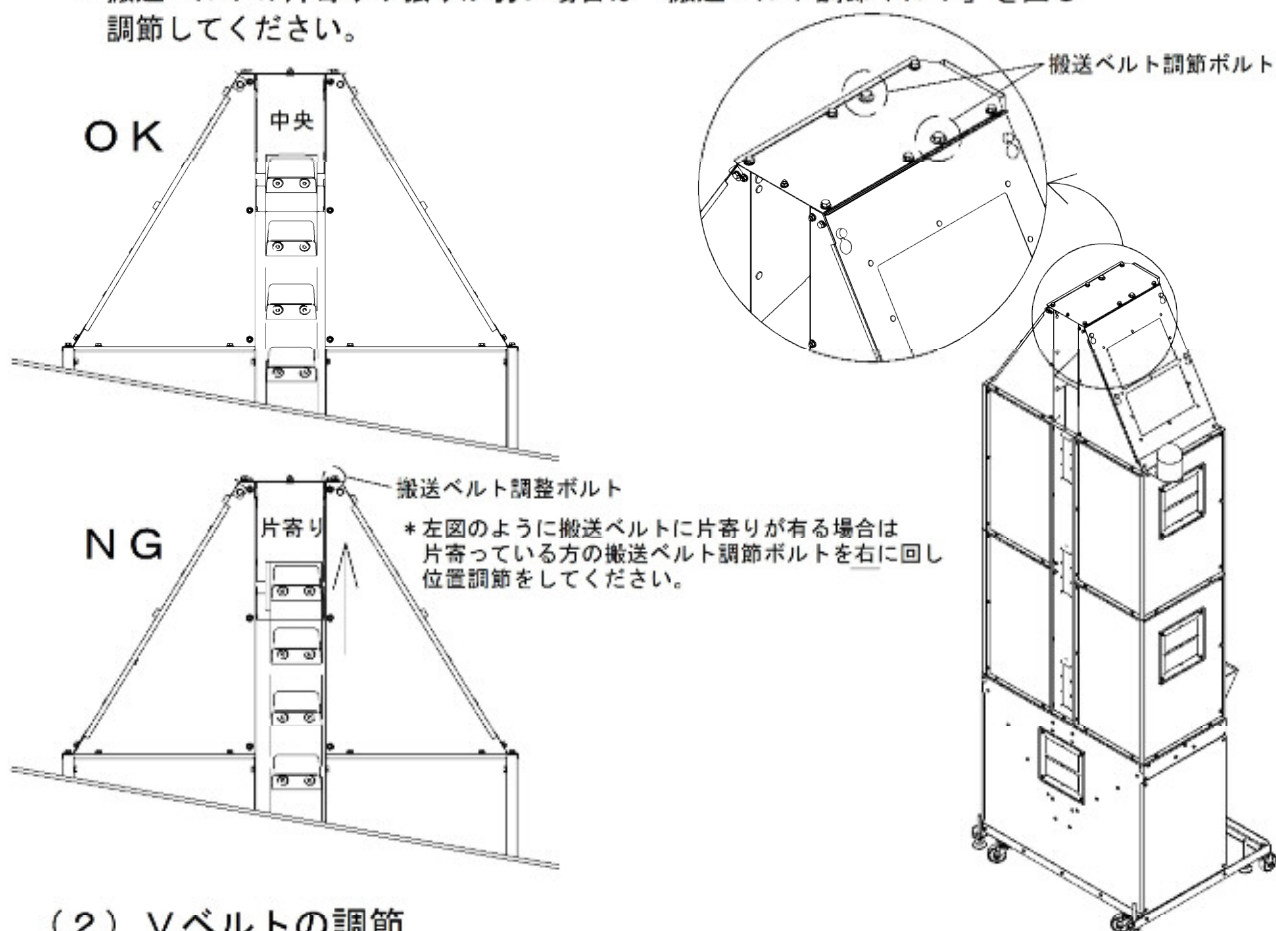
点検・調整について (CF04, CF03、CF02)

⚠ 警告 点検や調整は、必ず搬送スイッチを「OFF」にし差込プラグをコンセントから抜き、ベルトが完全に止まってから行ってください。また、点検や調整後に通り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けてください。

(1) 本体搬送ベルトの調節

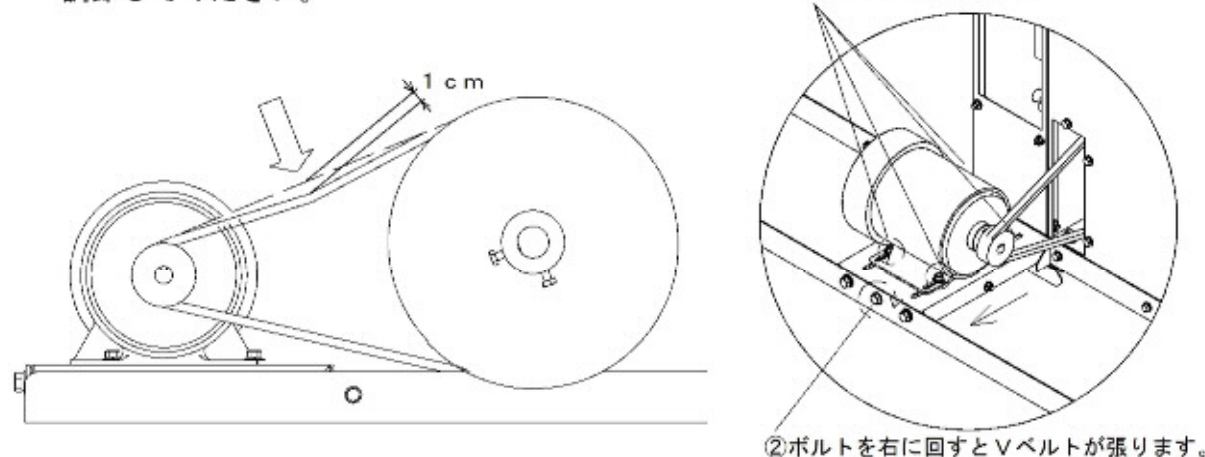
1) 搬送ベルトやパッケージが内部に接触することなく回転しているか確認してください。

→搬送ベルトの片寄りや張りが弱い場合は「搬送ベルト調節ボルト」を回し調節してください。



(2) Vベルトの調節

1) Vベルトの中間部分を指で軽く押して、たわみが約1 cm程度になるようにモーター位置を調節してください。

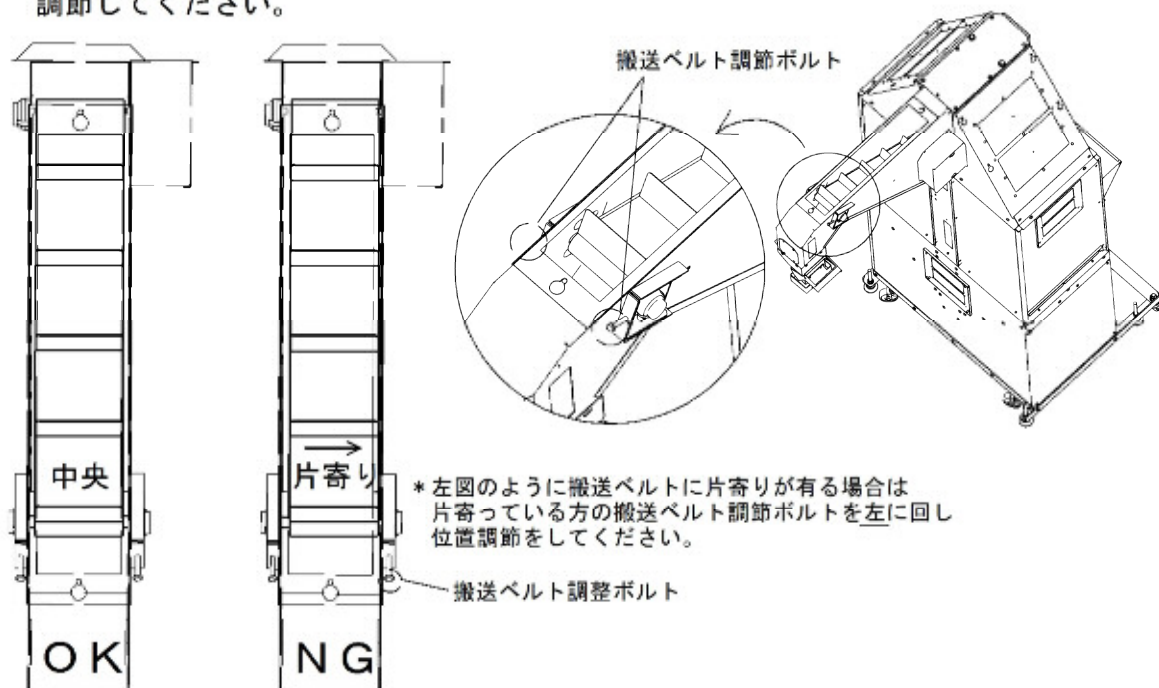


点検・調整について（CF02）

▲ 警告 点検や調整は、必ず搬送スイッチを「OFF」にし差込プラグをコンセントから抜き、ベルトが完全に止まってから行ってください。また、点検や調整後に通り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けてください。

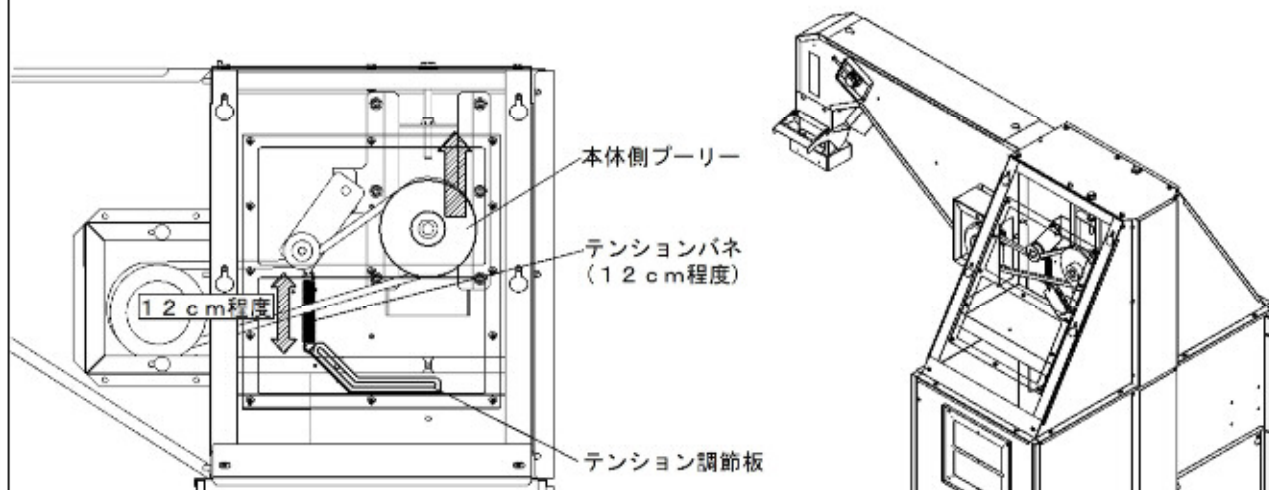
（１）出口ホッパー搬送ベルトの調節

- 搬送ベルトやバケットが内部に接触することなく回転しているか確認してください。
→搬送ベルトの片寄りや張りが弱い場合は「搬送ベルト調節ボルト」を回し調節してください。



（２）本体搬送ベルト調節時の注意事項

- 本体搬送ベルトを張ると本体側のプーリーが上方向に移動します。
Vベルトのテンションパネが伸びすぎないように
12cm程度になるようにテンション調節板の位置を調節してください。



不調診断

搬送部分

状 況	点 検 個 所 ・ 事 項	処 置
モーターが回らない (搬送ベルトが回転しない)	1) 差込みソケットが確実に入っていない 2) 端子部の締め付けが緩んでいる 3) 断線している 4) スイッチの不良	1) 差込みソケットを差し込んでください 2) 端子部を締め付け直してください 3) 断線を修理してください 4) スイッチを交換してください
モーターの負荷電流値が高い	1) 投入量が多い 2) 軸受部やモーターの損傷	1) 投入量を能力内になるよう流量調節板で調節してください 2) 軸受部やモーターを交換してください
モーターが再起動しない	1) 搬送部内に搬送物が詰まっている 2) 差込みソケットが確実に入っていない 3) 端子部の締め付けが緩んでいる 4) 断線している 5) スイッチの不良	1) 搬送部内の搬送物を全て取り出してください 2) 差込みソケットを差し込んでください 3) 端子部を締め付け直してください 4) 断線を修理してください 5) スイッチを交換してください
搬送能力が低い	1) 投入量が少ない 2) 搬送ベルトがスリップしている 3) Vベルトがスリップしている 4) 搬送バケットが磨耗している	1) 供給量を増やしてください 2) 搬送ベルトの張りを調節してください 3) Vベルトの張りを調節してください 4) 搬送バケットを交換してください
搬送物が投入口より入っていない	1) 搬送ベルトがスリップしている 2) Vベルトがスリップしている 3) モーターの回転方向が、搬送方向に合っていない 4) 搬送能力以上の搬送物が供給されている 5) 搬送部分が詰まっている	1) 搬送ベルトの張りを調節してください 2) Vベルトの張りを調節してください 3) モーターの回転方向を訂正してください 4) 供給量を減らしてください 5) 搬送部分の詰まりを解消してください
搬送ベルトがスリップする	1) 搬送ベルトの張り調節不足 2) 搬送部内に搬送物が詰まっている 3) 搬送ベルトが片寄りし搬送部内の内側に接触している	1) 搬送ベルトの張りを調節してください 2) 搬送部内の搬送物を全て取り出してください 3) 搬送ベルトの片寄りを直してください
搬送部内で異常音がする	1) 搬送ベルトが片寄りし搬送部内の内側に接触している	1) 搬送ベルトが中央で回転するようにベルト調節金具で調節してください
搬送バケットが底板に当たる	1) 搬送ベルトが伸びている	1) 搬送ベルトを短くしてください
搬送ベルトが片寄りする	1) 搬送ベルトの張り調節が左右でずれている	1) 搬送ベルトが中央で回転するようにベルト調節金具で調節してください
異物が排出される	1) 搬送部内の隅や搬送ベルトに付着した固形物がはがれている	1) 付着を確認後へら等で固形物を取り除いてください

不調診断

シャッター・計量部分

状 況	点 検 個 所 ・ 事 項	処 置
シャッターが開かない (シャッターが閉じない)	1) コネクターが確実に入っていない 2) 操作ボックスの100V電源が供給されていない 3) 操作ボックスの主電源が入っていない 4) 断線している	1) コネクターを差し込んでください 2) 100V電源を供給してください 3) 主電源をONにしてください 4) 断線を修理してください
シャッターから異常音が出る	1) ソレノイド吸着面に異物が挟まっている 2) ソレノイド吸着面がサビている 3) 断線している	1) 異物を取り除いてください 2) サビを取り除いてください 3) 断線を修理してください
定量値でシャッターが閉まらない (誤作動する)	1) 設定重量が正しくない 2) 落差等に誤った設定が入力されている	1) 定量前、定量の設定値を確認してください 2) 設定内容を再確認してください
指示計の表示が付かない	1) 指示計の100V電源が供給されていない 2) 指示計の100Vケーブルが指示計専用コンセントに接続されていない	1) 100V電源を供給してください 2) 100Vケーブルを指示計専用コンセントに接続してください
指示計の重量値が変動する (重量値が安定しない)	1) 台秤がケーブル等に触れている 2) 後方指示ホルダーが本体部等に触れている。 3) 電圧が安定していない 4) 秤コードの断線 5) 台秤が振動している 6) ゼロ点がズレている	1) ケーブル等が触れないようにしてください 2) 本体部等に触れないようにしてください 3) 作業の数10分前に指示計の電源を入れ電圧が安定してから使用してください 4) 断線を修理してください 5) 台秤の水平出しをしてください 6) 指示計の「ゼロ」キーを押してゼロ点を補正してください
指示計がエラー表示する		1) 指示計同梱の取扱説明書を参照し処置してください。 エラーが治らない場合はエラー内容をメモしお買い求めの販売店に連絡してください

製造販売元



株式会社

岡山農栄社

ホームページ <http://noeisha.co.jp>

本社	〒703-8204 岡山市中区雄町字八反田394-3	TEL (086) 279-6100
本社営業所	〒703-8204 岡山市中区雄町字八反田394-3	TEL (086) 279-6100
北海道営業所	〒078-8275 旭川市工業団地5条3-3-1	TEL (0166) 36-5115
東北営業所	〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町4-2-44	TEL (022) 232-5609
関東営業所	〒372-0023 群馬県伊勢崎市柏川町1616	TEL (0270) 21-8127
九州営業所	〒862-0911 熊本市東区健軍3-45-13	TEL (096) 368-7407

お客様メモ

購入日	年	月	日
購入店名			